

でも憂慮すべき状況にあると認識しております。

今後とも連合町内会や防犯協会・警察等と連携し、高齢者世帯の見回りや声かけを行いながら、地域主体型の活動を支援し、子どもたちや高齢者が安心して生活できるまちづくりに努めてまいります。

●消防体制につきましては、昨年度、消防団員に貸与する防火衣の更新が完了し、団員の意識高揚と、団の体制強化を図られたところであります。

今後とも更なる消防体制の充実強化を図りながら、地域住民の生命・財産を守り、安心・安全なまちづくりに努めてまいります。

●交通の確保につきましては、生活バスの運行は、通学や通院、買い物など交通弱者の日常生活に必要不可欠なものであり、バス事業者への支援に努めてまいります。

また、町内から町外の高校に通う高校生に対し、バス定期運賃の一部助成を継続してまいります。

●防災減災対策につきましては、昨年は、本町に大きな被害をもたらす災害の発生はありませんでしたが、「地域防災力」を高めるため、町と町内会等が一体となって関係機関と連携し、防災・減災意識の向上に努めてまいります。

●国道・道道の整備につきましては、道路改良や適正な維持管理について、関係機関に要望してまいります。

国道においては、越波・土砂災害等の対策として長年の要望により事業化された、花岡、大榎間3.7km区間の道路の嵩上げ工事である国道232号小平防犯の整備促進をはじめ、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」に基づいた、災害対策・老朽化対策・デジタル化等の推進について今後も要望してま

まいります。

道路においては、大榎線と交わる苦前小平線の改良に向け、引き続き要望してまいります。

●移住・定住対策につきましては、本町の人口も減少の一途を辿り、加えて少子高齢化が進んでいる状況にあります。

過疎化の進行は基幹産業の衰退、地域コミュニティの崩壊などの面で大きな影響が想定されます。

本年度も、移住フェアへ参画するとともに移住体験住宅を活用し、移住のPRを進めてまいります。

また、「空き家、空き地バンク」の情報の充実を図るほか、居住環境の情報発信を進めてまいります。

福祉施策

●子ども・子育て支援につきましては、重点施策の一つであり、人口減少対策の柱であります。昨年度よりスタートした「第二期小平子ども・子育て支援事業計画」に基づく取組みにより、町の宝で

ある子どもを安心して生み育てることができるよう推進してまいります。

本年度においても、引き続き効果的な施策として、子育て世帯への経済的支援である「紙おむつ・パンツ廃棄支援」、仕事と子育てを両立できるように、授業終了後の児童に対し適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る「放課後児童クラブ」の実施、検診時等の一時預かりとして「子育て支援一時預かり託児事業」等を継続実施し、子育て支援体制の推進と更なる充実を図ってまいります。

●高齢者対策につきましては、高齢者の皆様が、住み慣れた地域で安心して、いきいきと自立した生活ができるように、各種健康づくり事業や介護予防事業の充実及び町内老人クラブ活動の支援などの生きがい対策を推進し、健康寿命の延伸に努めるとともに、これまで実施している「交通費助成事業」、「一般廃棄物分別処理事業」、「緊急通報サービス支援事業」など、日常生活を直接支える支援を引き続き実施することにより生活不便の解消を図り、今後も高齢者に対する見守り活動や除雪支援を確実に実施し、高齢者の生活支援に一層配慮してまいります。

●障がい者支援につきましては、障がいのある方が、住み慣れた地域で自立して生活できる共生社会実現のため、引き続き障がい者の就労支援や生活介護支援を取組み、今後も障がい者支援体制整備を図るよう努めてまいります。

医療・介護施策

●昨年度は新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でありましたが、町民の皆様が一日も早く普段の日常生活を取り戻せるよう、切り札として期待されてい

るワクチン接種について、道や医療関係機関などと連携しながら接種体制について周到な準備により、円滑なワクチン接種に万全を期して取り組んでまいります。

すでに、基本的な接種場所は小平方面が小平町文化交流センター、鬼鹿方面が鬼鹿診療所を予定しており、4月以降、国より日程が示され次第速やかに65歳以上の高齢者から順次接種券を送付し、予約された日時により接種を開始し、16歳以上の町民2,735人に対し、ワクチンの供給状況によっては流動的ではありますが、12月までに接種を終了したいと考えております。

また、昨年度に引き続き、地方創生臨時交付金を活用し、感染拡大防止や地域の経済対策等として有効な支援を、町民等に対し行ってまいります。

町民一人ひとりの健康づくりを支援していくため、「小平町健康増進計画」に基づき、課題解決に向けた施策の取り組みを確実に推進してまいります。

本年度におきましても、子どもたちや高齢者のインフルエンザ予防接種に対し、費用の一部を助成し、発病予防や重症化予防に努めてまいりますとともに、一昨年度より実施しております新生児の聴覚検査に要する費用助成を継続し、新生児における聴覚障害の早期発見・療育に努めてまいります。

また、生活習慣病に起因する疾病から町民の健康を守るため、各町内会等への健康出前講座の実施や健康管理システムを活用した生活改善、健診受診の勧奨を行い、町民の健康維持に向けた一層の取り組みを進めてまいります。

町民の安心に資する地域医療を確保するために医療機器等の導入について計画的に行っておりますが、昨年度、着手しました(仮称)鬼鹿行政センター建設工

主な施策内容	予算額
乳幼児等医療費助成(拡大部分)	6,360千円
高齢者社会活動等参加ポイント事業	818千円
高齢者交通費助成事業委託	3,492千円
緊急通報サービス委託	2,266千円
障害者相談支援事業委託	1,300千円
高齢者グループハウス「やすらぎ荘」外部改修工事	22,264千円
高齢者宿泊助成金	500千円
町保育・託児事業補助金	6,280千円
学童保育事業	4,383千円